

日本初セーフコミュニティ認証都市

国際安全都市 セーフコミュニティかめおか



けがや事故を予防しよう

Vol. 47 令和7年3月号

セーフコミュニティとは、「けがや事故は偶然の結果ではなく予防できる」という観点から市民の皆さまと行政機関などが協働して安全・安心に暮らせるまちをつくる取り組みです。

亀岡市では、「スポーツの安全」「自殺対策」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の7つの対策委員会を設置し、安全・安心なまちを目指しています。

安全・安心の取り組みを一層広げるために～「国際安全都市」を共同で宣言～

「国際安全都市」宣言

だれもが安心安全で暮らせるまちづくりは、世界共通の願いである。

国際基準に基づいた安心安全で暮らせるまちづくりは、1970年代にスウェーデンの地方都市から始まり、その後、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」という認証制度として世界各地に取り組みが広がっている。

私たちは、セーフコミュニティによる国際基準に則り、「事故」や「けが」など、あらゆる危害は未然に防ぐことができるという理念のもと、「自分たちのまちは自分たちで守る」というオーナーシップの精神で市民協働のまちづくりを進めている。

私たちは自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献するため、このセーフコミュニティに取り組む私たちのまちを「国際安全都市」とすることを宣言する。

令和7年1月14日

京 都 府 亀 岡 市 長 桂川孝裕

青 森 県 十 和 田 市 長 小田久

大 阪 府 松 原 市 長 河津久文



亀岡市は、1月14日(火)に東京都の都道府県会館で、青森県十和田市、大阪府松原市と共同で「国際安全都市」を宣言しました。

この宣言は、本市がセーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会の会長市であり、セーフコミュニティを「国際安全都市」とわかりやすく表現し、その取り組みを一層広げようと、国内のセーフコミュニティ認証自治体に呼びかけたことで実現しました。

今回の宣言を通じ、さらに安全・安心なまちづくりに取り組んでいきます。

亀岡市で第1回国際安全都市アジア大会を実施予定です

アジア地域を中心にセーフコミュニティに取り組んでいる自治体や市民などが集まって、情報交換を行い、各自が実施している安全施策に関する理解を深めるとともに、セーフコミュニティの成果を国内外に発信し、ネットワークの強化・拡大を図ります。

開催日：令和7年8月2日(土)

場所：ガレリアかめおか

※詳細が決まり次第、広報誌や市ホームページ等でお知らせします。



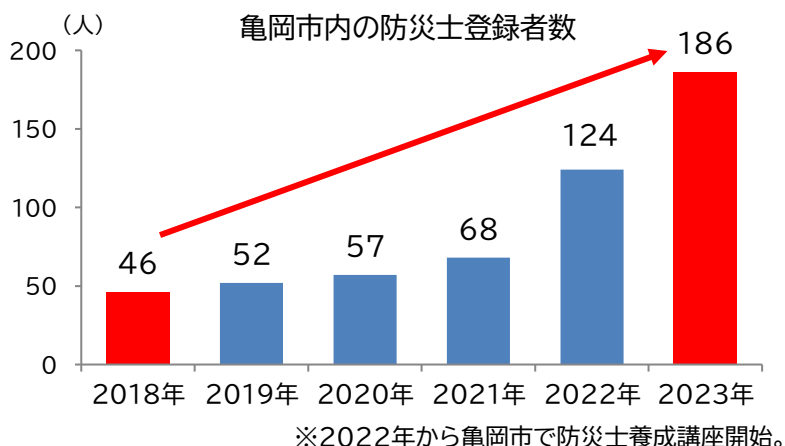
2022年アジア大会の様子(韓国・セジョン市)

防災士養成講座を実施しました

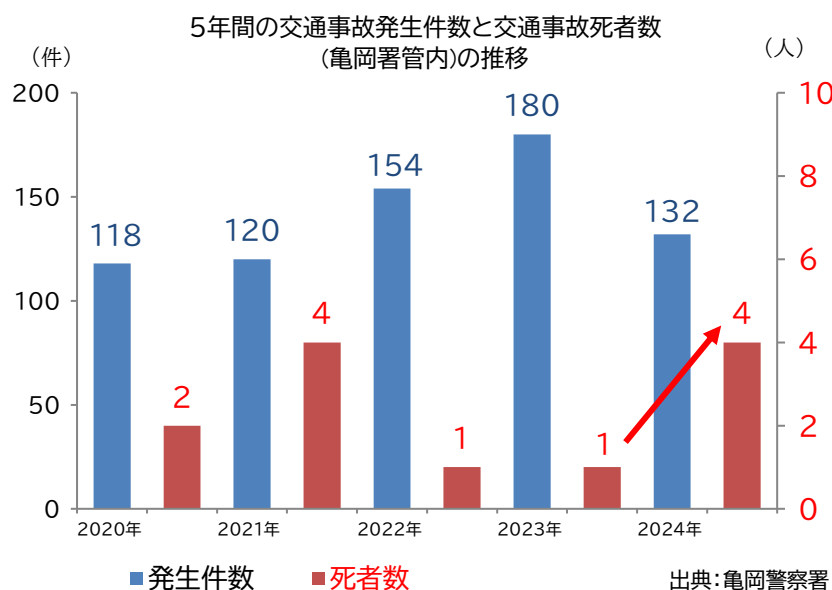
11月9日、10日に防災士養成講座を実施しました。防災に関する知識を有し、自主防災会や災害時要配慮者利用施設の防災活動に参加する地域の防災リーダーを育成することを目的としています。今回は過去最高となる64名が参加され、熱心に取り組んでいただきました。



防災士養成講座開始後、登録者数が増加しています



交通死亡事故が増加しています！



2024年の亀岡市内の交通事故発生件数は132件と2023年と比べ48件減少しました。しかし、交通事故死者数は増加し、4名の尊い命が失われました。

スピードの出しすぎに注意し、夕暮れ時には早めのライト点灯をお願いします。

また、徒歩や自転車での移動時は、車から早く発見されるように普段から反射材を身に着けるとともに、自転車乗車時はヘルメットを着用し、交通ルールを守り、安全運転に努めましょう。

乳幼児の身の回りに注意！

乳幼児(0歳～4歳)の住宅における主な外傷受傷原因は**転倒**と**転落**となっており、2014年から2023年の10年間の合計347件のうち、**54%と半数以上**を占めています。ベランダなどの危険な場所には、よじ登れる物を置かないようにしたり、ソファーに寝かせないようにするなど今一度確認し、ケガを防ぎましょう。

乳幼児の救急搬送における受傷原因

